

第3章 温室効果ガスの状況

※本算定の基礎資料である「都道府県別エネルギー消費統計」の数値が1990年度まで遡及し変更されたことなどにより、2023年度に本計画(第3～4章)の温室効果ガス排出量に関する数値や図表等を変更しています。

第3章 温室効果ガスの状況

第1節 温室効果ガス排出量・吸収量

1) 温室効果ガス排出の状況

本市の2020年度の温室効果ガス排出量は1,901千t-CO₂、森林による二酸化炭素の純吸収量³は7千t-CO₂、温室効果ガス実質排出量⁴は1,894千t-CO₂であり、本計画における基準年度(2013年度)と比較して、約20.8%の減少となっています。

2007年度以降、2010年度までは減少傾向で推移したものの、東日本大震災の影響等により増加傾向に転じましたが、その後、再生可能エネルギーの導入等により2016年度以降は減少傾向で推移しています。

表3-1-1 温室効果ガス排出量・吸収量

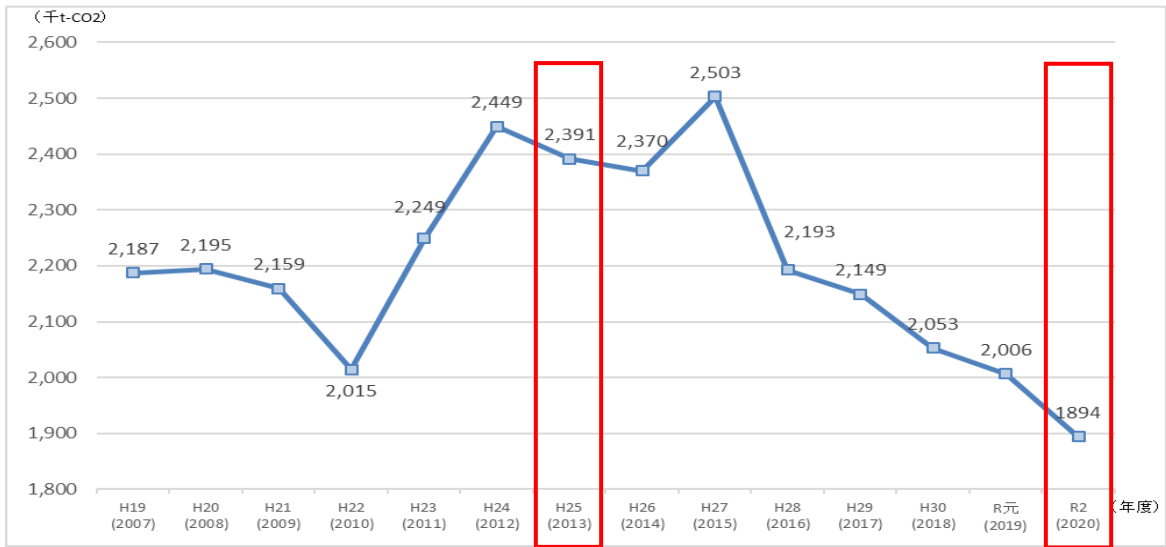
年度		H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)
エネルギー 起源CO ₂	産業部門														
	農林水産業	14	14	26	25	23	23	17	19	19	21	22	22	20	22
	建設業・鉱業	40	32	32	30	35	34	29	29	32	27	28	25	22	30
	製造業	570	547	493	456	480	525	564	516	469	402	375	387	336	362
	小計	624	593	552	512	539	583	610	564	521	450	425	434	379	414
	家庭部門	508	511	488	450	532	604	578	584	543	502	529	490	496	446
	業務部門	421	473	505	493	618	665	608	624	604	438	408	427	437	355
	運輸部門														
	自動車 旅客	341	339	342	259	252	253	254	253	436	432	423	427	365	357
	貨物	216	205	200	244	235	240	249	253	300	291	287	255	253	254
小計	557	544	542	503	487	493	503	506	736	722	710	626	618	611	
鉄道	18	18	18	16	21	23	22	21	21	20	19	19	19	17	
小計	575	562	560	519	508	516	525	528	756	742	729	645	636	628	
合計		2,128	2,139	2,105	1,973	2,197	2,368	2,320	2,299	2,424	2,133	2,091	1,996	1,948	1,843
非エネルギー 起源CO ₂	廃棄物分野														
一般廃棄物の焼却	44	35	36	24	23	53	46	43	52	42	43	41	36	39	
合計	44	35	36	24	23	53	46	43	52	42	43	41	36	39	
二酸化炭素排出量	排出量	2,171	2,174	2,141	1,997	2,220	2,421	2,367	2,342	2,476	2,175	2,134	2,038	1,984	1,881
メタン (CH ₄)	農業分野														
	耕作	10	10	10	10	10	9	10	10	9	8	8	8	8	7
	畜産	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3
	農業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	13	12	13	14	14	13	14	13	11	11	11	10	10	10
	廃棄物分野														
一般廃棄物の焼却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
排水処理	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
小計	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
合計	15	15	16	16	16	15	16	15	13	13	13	13	12	12	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	農業分野														
	耕作	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	畜産	3	3	3	6	6	6	6	6	4	4	4	4	4	4
	農業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4	4	4	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5
	廃棄物分野														
一般廃棄物の焼却	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
排水処理	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
小計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
合計	7	7	7	9	9	9	9	9	8	7	7	7	7	7	
温室効果ガス排出量	総計	2,194	2,196	2,163	2,022	2,245	2,445	2,391	2,367	2,497	2,195	2,154	2,058	2,004	1,901
CO ₂ 吸収量	吸収量	35	31	36	39	40	38	40	41	39	37	38	39	39	38
	主伐に伴う排出量	28	30	32	32	44	42	41	44	44	35	33	34	42	31
	純吸収量	6	1	4	8	-4	-4	0	-3	-5	2	5	5	-3	7
温室効果ガス実質排出量		2,187	2,195	2,159	2,015	2,249	2,449	2,391	2,370	2,503	2,193	2,149	2,053	2,006	1,894

注 「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」策定・実施マニュアルに基づき算定

³ 純吸収量＝[森林による吸収量]－[主伐による排出量]

⁴ 温室効果ガス実質排出量＝[温室効果ガス排出量]－[純吸収量]

図3-1-1 温室効果ガス実質排出量の推移



2) 部門別の温室効果ガス排出量

本市の2020年度温室効果ガス排出量を部門別にみると、産業部門が414千t-CO₂(排出量全体の21.8%、2013年度比32.1%減少)、家庭部門が446千t-CO₂(同23.5%、同22.8%減少)、業務部門が355千t-CO₂(同18.7%、同41.6%減少)、運輸部門628千t-CO₂(同33.0%、同19.6%増加)、その他、廃棄物及び農業分野からの排出量が58千t-CO₂(同3.1%、同18.3%減少)となっています。

図3-1-2 部門別温室効果ガス排出量

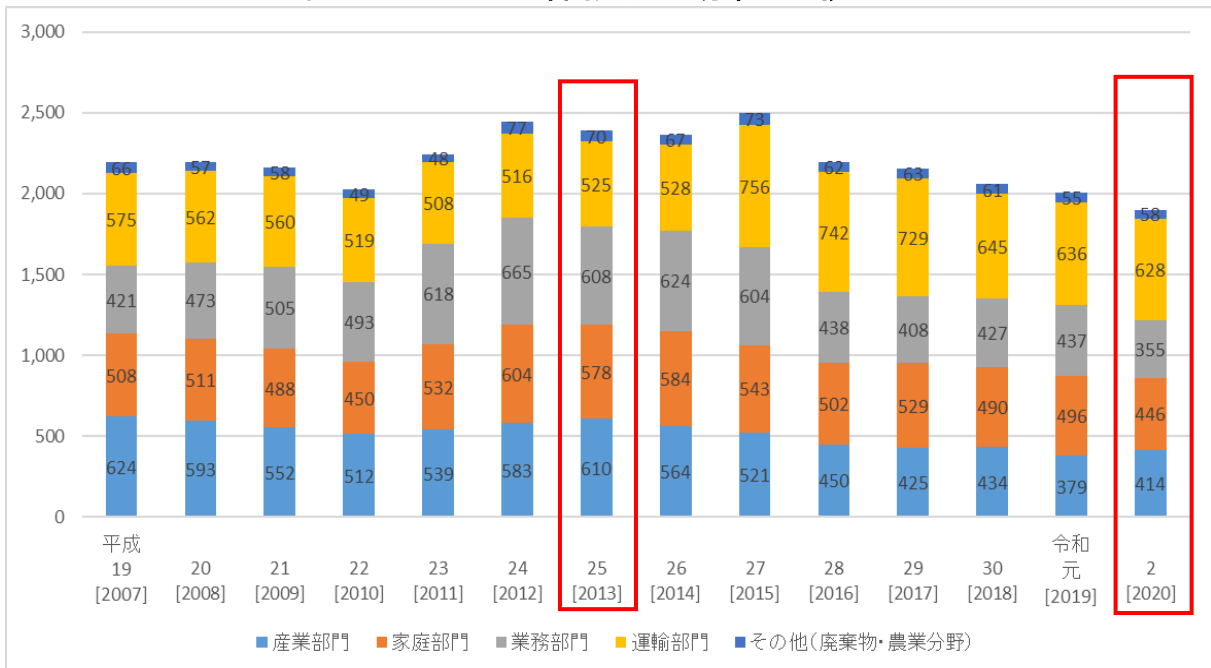
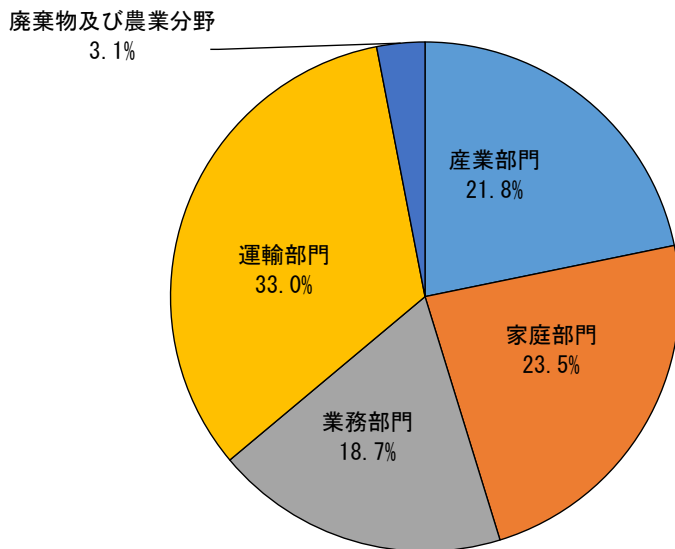


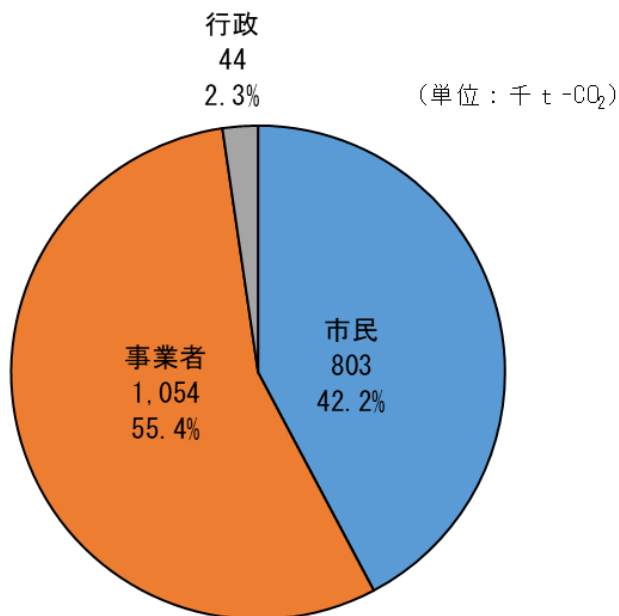
図3-1-3 部門別温室効果ガス排出量割合（2020年度）



3) 主体別の温室効果ガス排出量

本市の2020年度温室効果ガス排出量を主体別にみると、市民からの排出量が803千t-CO₂(排出量全体の42.2%)、事業者からの排出量が1,054千t-CO₂(同55.4%)、行政からの排出量が44千t-CO₂(同2.3%)となっています。

図3-1-4 主体別温室効果ガス排出量（2020年度）



注 市民からの排出量＝家庭部門＋運輸部門

注 事業者からの排出量＝産業部門＋業務部門＋運輸部門＋農業分野

注 行政からの排出量＝廃棄物分野

4) 燃料種別のCO₂排出量

本市の2020年度温室効果ガス排出量のうち、廃棄物部門を除くエネルギー起源CO₂(1,843千t-CO₂)を燃料種別にみると、電力44.8%、ガソリン21.5%、軽質油製品14.2%、その他の順になっており、上位3種別で全体の約8割を占めています。

図3-1-5 燃料種別CO₂排出量(2020年度)

